

令和3年度埼玉県選手権大会（高校ダブルスの部）

男女個人 令和3年7月22日(木) [熊谷さくら運動公園]

【競技上の注意】

1. 競 技

- (1) 本大会は(公財)日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブックに準拠し、また顧問総会資料の申し合わせに従って全て7ゲームマッチで行う。
- (2) プレーヤー、審判とも公認の正しい服装でコートに出場する。ゼッケンは必ず四隅を留める。
- (3) 大会使用球は、男子「KENKO」・女子「赤エム」とする。
- (4) 試合前の練習は1分以内とする。練習終了後はベンチに戻らずに速やかにマッチを開始する。
- (5) ベンチは選手間の距離を確保して使用する。
- (6) プレー中はハイタッチや握手等は行わない。またマスクを着用しなくても良い。
- (7) 選手及び審判はコートから出る際には手指消毒をする。

2. 進 行

- (1) 進行表に従って行う。ベンチは番号の小さいペアが通路側(本部側)を使用する。
次の対戦のペアは試合コート付近で待機する。
試合の進行状況によりコート変更の場合があるので、選手・審判は放送に注意する。
- (2) 棄権や選手変更の連絡は本部前に掲示するので、各ペアで確認をする。
- (3) 勝者のペアは試合終了後、速やかにジャッジペーパーを本部へ提出する。

3. 審 判

- (1) 審判を行う際は、審判資格ワッペンを左胸に着用する。筆記用具は、各自で準備する。
原則マスクを着用するが、体調不良や熱中症の危険が伴いそうな場合には着用しなくても良い。
コールの声が届かないと思われる場合はサインを伴って判定する。
- (2) 試合の開始・終了時の集合は、両ペアともにネットから1mの距離をとる。(審判も準ずる)
- (3) 各コート第1試合は進行表に記載されたペアが審判を行う。第2試合以降は敗者審判とする。
- (4) 審判はジャッジペーパーの選手名を確認して対戦を始める。
- (5) 試合終了後は勝敗及びスコアの確認をし、勝者にジャッジペーパーを渡す。勝者サイン及び握手は省略する。
- (6) 終了後、審判台下の除菌用品を用い、採点板やボール等の除菌を行う。

4. そ の 他

- (1) すべての引率責任者及び外部指導者は、会場内では必ずIDカードを着用する。
- (2) ベンチコーチは許可しない。引率責任者は、選手の健康に配慮する観点から試合をしているコート付近で観察することが望ましい。
- (3) 応援は拍手程度とする。また部旗等の掲揚はいかなる場所も許可しない。
- (4) 公園内では原則右側通行とし、ボールを使った練習はしない。
- (5) 貴重品の管理には十分注意する。またゴミは必ず持ち帰る。
- (6) 選手、審判、引率責任者は水分補給・休養等しっかり取って体調管理に留意し、また十分な感染症対策及び熱中症対策を講じる。体調不良者が出た場合は、速やかに本部へ連絡する。
- (7) 自分の試合が終了した選手は、審判終了後、引率責任者へ体調報告をし、引率責任者の指示に従って速やかに帰宅する。会場内では健康観察及び事務連絡以外のミーティングは行わない。